

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、公認心理士などのあらゆるの分野での専門知識のある職員が在籍しているため、利用者のニーズにあわせた療育を行えている。今後もこの強みを活かし、専門性を高め質の高い支援を提供していきたい。	定期的に情報共有や意見交換をできる場を設け、保育士、児童指導員、作業療法士、公認心理士などそれぞれの立場での気付きやアイデアを共有できるようにしている。それにより、質の高い、ここに合わせた支援が提供できるようにしている。	今後は、定期的な勉強会を実施し、それぞれの立場での強みをより生かせるようにしていきたい
2	子どものことを十分に理解し、一人ひとりに合わせた支援プログラムを提供できている。	主に担当制のマンツーマンの個別療育を行っているため、より丁寧な支援が提供できている	担当者だけでなく、他のスタッフとも情報共有、意見交換などを積極的に行うことで、別の視点からのアプローチにもつながる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが、スタッフの人数の関係上、土曜日などの勤務が難しい	・今よりも更なる職員の増員を行う必要がある。また、保護者からどのような交流会が必要と感じているか、困り感や悩みなどをききながら、ニーズにあったイベントや交流会などを実施していきたい
2	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを策定し、定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを策定し、定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている	緊急時や防災に関するマニュアルを策定していることや、どのような方法で訓練を実施しているのかを、情報共有システムなどを使用し積極的に伝えていく
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	療育支援室 せいけいエデュケアルーム 児童発達支援			公表日	2025年3月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個別療育を実施し、子ども達が十分に活動できるように工夫している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5		利用人数や状況に合わせて配置しており、安全確保のために複数職員で支援することもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		利用者の方がより分かりやすい表示を改めて考え直し、特性に応じてイラストや写真等の視覚的な情報を活用する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動に応じてその都度掃除をし、マットや床など更に清潔に保てるようにする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		部屋が1室のため、別室を利用することが難しいが、子どもがクールダウンをするために必要に応じてパーティションなどを活用し場所を確保している
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		職員全体で、計画を立てるところから振り返りまで共有する時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ホームページで公開し、課題や改善点に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週必ず情報共有や意見交換の場を設けて業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		今後、必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	安全計画を作成し、職員に対して定期的な安全管理研修を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、職員全員に周知徹底を図っています。	研修や訓練の内容が一部の職員にとっては不十分な場合があり、実務に即したシミュレーション訓練を強化する必要があります。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは子ども一人ひとりの特性に合わせて作成し、個別支援計画を基にプログラム内容を柔軟に調整しています。また、保護者にも支援プログラムの内容や目標を分かりやすく説明し、透明性を確保しています。	支援プログラムの進行状況や効果についてのフィードバックが一部の保護者に十分に届いていないため、定期的な報告方法や機会を増やし、保護者との連携を強化する必要があります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		発達検査の結果や子どもの行動観察、保護者への聞き取りから計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員で子どもの達の情報を共有し、必ず意見交換をした後、子どもたちにとって最善と思われる支援内容を話し合い作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画に沿ったプログラムを立てている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたツールと日々の行動観察を組み合わせて、こどもの適応行動を多角的に確認しています。これにより、こどもの個別のニーズに応じた支援が提供できるよう工夫しています。	インフォーマルなアセスメントの結果をより効果的に記録・分析し、支援計画に反映させるためのシステムや手順の整備が必要です。また、ツールの使用頻度や精度についてスタッフ間での共有が課題です。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		発達支援（生活、運動、認知適応、言語社会）、家族支援（保護者との振り返り等）、地域支援（連携）といった支援内容で進めている。	今後も継続して、ガイドラインやその時の課題に合わせて、支援に必要な項目や支援内容を設定し、個別支援計画書に記載する。

供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		支援計画に沿ったプログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		必要に応じて教材を追加しながら、次につながるプログラムを考えている。	同じプログラム内容でも支援方法を変え、固定化しないようにする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		課題や年齢に合わせて集団も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日必ず情報共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	成長した点や子どもの言動、支援方法を共有し、次の支援につなげられるようにしている。	今後も、関わり方や支援方法が適切であったかどうか、その都度振り返り、次回に生かす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録用ファイルを作り、毎回必ず記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に1回モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		研修で参加方法を学び、内容を活用できる職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保健センターや相談支援員の方と情報共有し、支援に取り入れている。	子育て支援の関係者、機関と必要に応じて連携して支援する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		併行利用や移行支援において、個別支援計画を基に段階的にサポートし、保育所や幼稚園、特別支援学校との情報共有を行っています。	情報共有のタイムリーさや認識のズレがあるため、定期的なミーティングやフィードバックを強化し、支援方法の統一と連携をさらに進める必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		在籍とは小学校就学に向けて必要な支援などの情報共有は行っている。 今後は就学期間との直接的な連携も取り入れていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			該当なし	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			該当なし	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			該当なし	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		今後積極的に取り組んでいきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		外部の保育園からの利用者を交えて集団療育を行ったり、子ども園の施設を使って交流するよう工夫している。	子ども園の園庭などを利用し、交流の場を増やす機会をつくる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎回必ず話す機会を設け、直接お伝えしたり、毎回会えない方とは連絡システムを使いお伝えしている。	送迎利用等でお会いできない保護者には、共通理解を図るため定期的に活動を見に来ていただけるよう積極的に働きかける。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	保護者との振り返りの際に、専門職員が心理教育を行っている。	家族支援について詳しく学ぶ機会があれば参加する。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明し、不明なところがないか確認している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		6ヶ月に1回モニタリングを設け、本人や家族の意向を丁寧に確認している		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		作成した計画書を見ながら説明し、同意を得てサイン・捺印していただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて専門職員が面談を行っている。	保護者の方と会う機会が少ない場合は、保護者の相談に対応できるように定期的に機会を設ける。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			今後積極的に、交流できる機会を増やしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご意見をいただいた際はすぐに改善するように職員で共有し、対応している。	こどもや保護者が相談しやすい環境づくりと、迅速な対応ができるようにする。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月エデュケアルーム新聞を発行したり、連絡システムで情報を発信している。	今後SNSでも発信も積極的に取り入れていく予定である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報使用同意書を活用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		状況に合わせた伝達方法（直接、電話、連絡システム等）を用いるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			プライバシーの問題から実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	訓練の内容を全職員で共有し、緊急時に冷静に対応する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		法人としてBCPの策定、定期的な話し合い、訓練を行うようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		見学・契約時に聞き取り、また児童調査票にも記入していただき、常に注意している。	てんかんや持病の一覧表を作り、管理する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	該当児なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じてスタッフの意識向上を図っています。	安全計画に関する情報共有が不十分な場合があります。全スタッフが常に最新の情報を把握しているか確認する仕組みを強化する必要があります。また、訓練の頻度を増やし、実際の支援場面に即したシミュレーションを行うことで、より実践的な安全管理を実現したいと考えています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		少しでも危険があれば共有し、改善するようにしている。	事例集になるほど事例が出ていませんが、今後も共有する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修に参加し、日頃から意識している。	研修内容を共有し、学びの場を増やす。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4	身体拘束をするケースなし。	危険が伴う場合など突発的に身体拘束となることが想定されるケースや改善に向けた取り組みも含めて検討する。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年3月24日

事業所名：児童発達支援 療育支援室 せいかエデュケアルーム

対象人数(保護者)32人 回答者数 11人 回収 34.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1			年齢に合わせて職員の人数を変更させていただくこともあると思います。危険のないように安全に十分配慮して支援を提供できるようにしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1		併設のこども園の遊具や砂場などの利用を今後努めます。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	1		保護者の方向けの学習会など今後検討したいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			半年ごとのモニタリング面談のほか、随時相談支援も行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	3	保護者の方が参加していただけるような行事など検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2		連絡システムを利用し、相談体制の周知に努めます。また申入れがあった際は適切に対応いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	4		併設の子ども園と同じマニュアルを策定しており、毎月一緒に訓練を実施しています。訓練に参加された場合は保護者の方にもお伝えするようにいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	5		併設の子ども園と一緒に毎月訓練を実施し、療育中に保護者の方が同席されている場合は一緒に訓練に参加していただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	4		事故発生時には速やかに保護者の方に連絡を入れ、状況等の説明もおこなっています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 放課後ディサービス			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ~ 2025年3月9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ~ 2025年3月9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、公認心理士などのあらゆるの分野での専門知識のある職員が在籍しているため、利用者のニーズにあわせた療育を行えている。今後もこの強みを活かし、専門性を高め質の高い支援を提供していきたい。	定期的に情報共有や意見交換をできる場を設け、保育士、児童指導員、作業療法士、公認心理士などそれぞれの立場での気付きやアイデアを共有できるようにしている。それにより、質の高い、ここに合わせた支援が提供できるようにしている。	今後は、定期的な勉強会を実施し、それぞれの立場での強みをより生かせるようにしていきたい
2	子どものことを十分に理解し、一人ひとりに合わせた支援プログラムを提供できている。	主に担当制のマンツーマンの個別療育を行っているため、より丁寧な支援が提供できている	担当者だけでなく、他のスタッフとも情報共有、意見交換などを積極的に行うことで、別の視点からのアプローチにもつながる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが、スタッフの人数の関係上、土曜日などの勤務が難しい	・今よりも更なる職員の増員を行う必要がある。また、保護者からどのような交流会が必要と感じているか、困り感や悩みなどをききながら、ニーズにあったイベントや交流会などを実施していきたい
2	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを策定し、定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを策定し、定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている	緊急時や防災に関するマニュアルを策定していることや、どのような方法で訓練を実施しているのかを、情報共有システムなどを使用し積極的に伝えていく
3			

事業所名		療育支援室 せいこエデュケアルーム 放課後デイサービス		公表日		2025年3月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個別療育を実施し、子ども達が十分に活動できるように工夫している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用人数や状況に合わせて配置しており、安全確保のために複数職員で支援することもある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		利用者の方がより分かりやすい表示を改めて考え直し、特性に応じてイラストや写真等の視覚的な情報を活用する		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動に応じてその都度掃除をし、マットや床など更に清潔に保てるようにする。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		部屋が1室のため、別室を利用することが難しいが、子どもがクールダウンをするために必要に応じてパーティションなどを活用し場所を確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員全体で、計画を立てるところから振り返りまで共有する時間を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ホームページで公開し、課題や改善点に取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週必ず情報共有や意見交換の場を設けて業務改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		今後、必要に応じて外部評価の実施を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	安全計画を作成し、職員に対して定期的な安全管理研修を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、職員全員に周知徹底を図っています。	研修や訓練の内容が一部の職員にとっては不十分な場合があり、実務に即したシミュレーション訓練を強化する必要があります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは子ども一人ひとりの特性に合わせて作成し、個別支援計画を基にプログラム内容を柔軟に調整しています。また、保護者にも支援プログラムの内容や目標を分かりやすく説明しています。	支援プログラムの進行状況や効果についてのフィードバックが一部の保護者に十分に届いていないため、定期的な報告方法や機会を増やし、保護者との連携を強化する必要があります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		発達検査の結果や子どもの行動観察、保護者への聞き取りから計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員で子どもの達の情報を共有し、必ず意見交換をした後、子どもたちにとって最善と思われる支援内容を話し合い作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画に沿ったプログラムを立てている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたツールと日々の行動観察を併用し、こどもの適応行動を多角的に評価しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを基に、本人・家族・移行・地域支援の視点を取り入れ、子どもに必要な支援項目を適切に設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		必要に応じて教材を追加しながら、次につながるプログラムを考えている。	同じプログラム内容でも支援方法を変え、固定化しないようにする。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		課題や年齢に合わせて集団も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日必ず情報共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	成長した点や子どもの言動、支援方法を共有し、次の支援につなげられるようにしている。	今後も、関わり方や支援方法が適切であったかどうか、その都度振り返り、次回に生かす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録用ファイルを作り、毎回必ず記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に1回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。				活動のバランスや個別最適化をさらに高めるため、支援内容の見直しやスタッフ間の連携を強化していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の選択肢を提示し、こどもが興味や関心に応じて選べる環境を整え、自己決定の機会を増やしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		研修で参加方法を学び、内容を活用できる職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保健センターや相談支援員の方と情報共有し、支援に取り入れている。	子育て支援の関係者、機関と必要に応じて連携して支援する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3		送迎の予定などの共有はできているが、その他の情報共有は、密にとれていないため、今後連携を強化していきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	同じグループ内の園の卒園児が多く利用しているため、定期的に連携会議をもてるようにしている	グループ園の卒園児ではない児童については、今後連携を強化していきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	今のところ該当児童なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		今後積極的に取り組んでいきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	契約時に説明し、不明なところがないか確認している。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		5		対象となる地域の自立支援協議会の開催頻度が少ないため、参加できていない。今後は情報収集も積極的にし、機会があれば参加できるようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		利用の際は必ず、話をする時間を設け、成長や課題を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	保護者との振り返りの際に、専門職員が心理教育を行っている。	家族支援について詳しく学ぶ機会があれば参加する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明し、不明なところがないか確認している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリングの際には必ず、本人、家族からの意向を伺い、ニーズに合わせたサービス提供を作成するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		作成した計画書を見ながら説明し、同意を得てサイン・捺印していただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて専門職員が面談を行っている。	保護者の方と会う機会が少ない場合は、保護者の相談に対応できるように定期的に機会を設ける。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後積極的に、交流できる機会を増やしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご意見をいただいた際はすぐに改善するように職員で共有し、対応している。	子どもや保護者が相談しやすい環境づくりと、迅速な対応がてきえるようにする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月エデュケアルーム新聞を発行したり、連絡システムで情報を発信している。	今後SNSでも発信も積極的に取り入れていく予定である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報使用同意書を活用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		状況に合わせた伝達方法（直接、電話、連絡システム等）を用いるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			プライバシーの問題から実施していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	訓練の内容を全職員で共有し、緊急時に冷静に対応する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		法人としてBCPの策定、定期的な話し合い、訓練を行うようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		見学・契約時に聞き取り、また児童調査票にも記入していただき、常に注意している。	てんかんや持病の一覧表を作り、管理する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	該当児なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じてスタッフの意識向上を図っています。	安全計画に関する情報共有が不十分な場合があり、全スタッフが常に最新の情報を把握しているか確認する仕組みを強化する必要があります。また、訓練の頻度を増やし、実際の現場でも実践できるようにしていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		少しでも危険があれば共有し、改善するようにしている。	事例集になるほど事例が出ていませんが、今後も共有する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修に参加し、日頃から意識している。	研修内容を共有し、学びの場を増やす。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	4	身体拘束をするケースなし。	危険が伴う場合など突発的に身体拘束となることが想定されるケースや改善に向けた取り組みも含めて検討する。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日 2025年3月24日

事業所名：放課後等デイサービス 療育支援室
せいかエデュケアルーム

対象人数（保護者）5人 回答者数 2人 回収 40%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1			併設のこども園の園庭や遊戯室なども使用し確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1			配置数は満たしておりますが、今後もさらに専門性の高い職員の配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1			保護者の方にさらにご理解いただけるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1			保護者の方にさらにご理解いただけるように努めます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	1			個別支援計画や活動プログラムなど、保護者の方にさらにご理解いただけるように努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	1			その時の課題に合わせて、支援内容を設定し、個別支援計画書に記載しております。更に保護者の方にわかりやすく説明し、納得して支援を受けてもらえるように努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1		1		個別支援計画や活動プログラムなど、保護者の方にさらにご理解いただけるように努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1		併設のこども園などとも連携し活動する機会を設けます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1		1		個別支援計画や活動プログラムなど、保護者の方にさらにご理解いただけるように努めます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1	1	保護者の方向けの学習会など今後検討したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	保護者の方が参加していただけるような行事など検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1		連絡システムを利用し、相談体制の周知に努めます。また申入れがあった際は適切に対応いたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2			
	29	事業所の支援に満足していますか。	2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2025年3月24日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数) 5施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じグループ内の子ども園の利用者が多く、情報共有システムを全職員が使用していることで、連携がとりやすく、定期的な関係機関連携を実施できている。	ビデオ通話などの機能を全職員が簡単に操作できるようにしているため、子ども園側から相談の要望があればすぐに対応出来るようにしている	関係機関連携を行った情報を保護者の方と頻繁に共有する時間が少ないため、情報が連携出来ていない場合がある。保護者の方とも園での情報や支援内容を頻繁に見直せる機会を設けていく。
2	利用者の中には同じ施設内の子ども園に在籍している園児が複数名いるため、毎日子ども達の集団での様子を見る事ができるため、具体的な支援や保育士へのアドバイスが行いやすい	あらゆる専門知識をもったスタッフで、訪問支援時以外の集団での子ども達の様子を見に行けるようにし、集団での困り感や必要な支援を支援プログラムに作成出来るようにしている	子ども園側の特定の職員だけでなく、子ども達とかかわるあらゆる職員との連携も強化していきたい
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	グループ外の施設の利用者がまだいないため、外部施設との連携のシステムづくりが不十分である	現在訪問支援の利用者が同事業所の見発や放デイで通っている利用者のみであり、そのほとんどが同グループ内の子ども園の在園児であるため。	あらゆる外部の施設ともスムーズな連携をはかるため、連携を行う頻度、手段、窓口などを明確にしておく必要がある
2	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが、スタッフの人数の関係上、土曜日などの勤務が難しい	・今よりも更なる職員の増員を行う必要がある。また、保護者からどのような交流会が必要と感じているか、困り感や悩みなどをききながら、ニーズにあったイベントや交流会などを実施していきたい
3			

事業所名 療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援

公表日

2025年 3月 24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		訪問先の環境やこどもの発達段階に応じた教具・教材を選定し、効果的な支援を行っています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		放生所等訪問後、ミーティングを行い、情報共有の時間を設け、目標や今後の支援方針を話し合いを行っている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		訪問後、ミーティングを行い、情報共有の時間を設け、目標や今後の支援方針を話し合いを行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		定期的にミーティングをおこない、様々な視点で子どもの姿を見れるようにしている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		定期的な会議やアンケートを実施し、従業員の意見を収集し、業務改善に反映しています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		現在、第三者による外部評価を実施していないため、客観的な視点を取り入れる仕組みを検討し、業務改善につなげる必要があります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		視野を広げたり、新たな視点獲得のため研修に参加する機会がある。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		アセスメントを適切に実施し、こどもと保護者のニーズを分析した上で、支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員が連携し、共通理解のもとでこどもの最善の利益を考慮した計画を作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先施設の担当者や担任と連携し、意向を反映させた支援計画を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画を職員間で共有し、一貫性のある支援が提供できるよう取り組んでいます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントに加え、日々の行動観察などのインフォーマルなアセスメントも活用し、こどもの適応行動を多面的に確認しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」を踏まえ、こどもに適した具体的な支援内容を計画に反映しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画を職員間で共有し、計画に基づいた一貫性のある支援を実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		支援開始前に職員間で必ず打合せを行い、支援内容や役割分担を明確にすることで、チーム全体での連携を強化し、効率的かつ円滑な支援が実現できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援後、打合せで「良かった点」と「改善点」を具体的にメモし、次回の支援に活かしています。職員全員が自分の視点で意見を出し合う時間を設け、気づきを共有しています。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問前に訪問先の理念や支援手法をスタッフ間で共有し、支援計画に反映させています。支援中は、訪問先の方法に合わせて柔軟に対応し、定期的にフィードバックを行い理念を尊重しています。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	支援の後、毎回詳細な記録を取り、支援内容や結果、気づいた点を整理しています。記録を基に職員間で振り返りを行い、改善策を共有し次回に活かすようにしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	定期的に保護者や訪問先とコミュニケーションを取り、意向やフィードバックを確認しています。これに基づいて、支援計画が適切かどうかを評価し、必要に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	サービス担当者会議や関係機関との会議には、支援に直接関わっているスタッフが必ず参加し、そのこどもの状況をしっかりと伝え、他の関係者と情報を共有しています。これにより、支援内容が一貫性を持ち、適切に調整されるようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育機関と定期的に情報共有を行い、支援に関わる各機関と連携しています。具体的には、定期的な会議や情報交換の場を設け、関係機関が協力して支援を進められるよう体制を整えています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就学時の移行時に、小学校や特別支援学校との情報共有が不足しているため、早期に連携体制を整え、支援内容を共有する必要があります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	専門家や専門機関からの助言を積極的に受け取り、職員を外部研修に参加させ、最新の知識や技術を学び、支援の質の向上に繋げています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		対象となる地域の自立支援協議会の開催頻度が少ないため、参加できていない。今後は情報収集も積極的にし、機会があれば参加できるようにしていきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	日常的に保護者とこどもの発達や課題について意見交換を行い、定期的に個別面談やオンライン連絡ツールを通じて共有しています。これにより、保護者と共通理解を持つよう努めています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		現時点では家族支援プログラムや研修の機会を提供していないため、今後、家族の対応力向上を支援するプログラムや研修機会の提供が必要で。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	運営規程や利用者負担について、利用者に対して丁寧に説明を行い、疑問点があればその場で解決できるようにしています。また、書面での案内も提供し、確認しやすいように配慮しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	訪問先施設には、事業の趣旨や訪問支援の目的について事前に丁寧に説明を行い、理解を得た上で支援を開始しています。また、施設のニーズに応じて、具体的な支援内容を調整しながら進めています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意向を積極的に確認し、個別のニーズを反映させるようにしています。定期的な面談を行い、家族の意見をしっかりと聞く機会を設けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容を説明し、保護者の理解を得た上で同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	定期的に家族からの子育てに関する悩みや相談に応じ、柔軟に対応しています。相談内容に基づいて、適切な助言を提供し、必要に応じて他の支援機関へのつなぎ込みも行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2		保護者同士の交流の場やきょうだい同士の交流の場が不足しているため、今後は定期的なイベントや会合を開催し、保護者やきょうだいが互いに支え合えるような環境作りを進めることが求められます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	こどもや保護者からの相談や申入れについて、専用の窓口を設けて対応体制を整えています。また、保護者にその体制を周知し、迅速に対応できるようスタッフ間で連携を図っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	定期的に通信を発行し、HPやSNSを活用して、活動概要や連絡体制についてこどもや保護者に情報を発信しています。	

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	個人情報の取り扱いについて、厳格な管理体制を設け、スタッフ全員に定期的な研修を実施しています。また、情報の保存・共有に關しても適切な方法を徹底しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	障害のある子どもや保護者と円滑に意思疎通を図るため、個別のニーズに応じた配慮をしています。例えば、視覚的・聴覚的サポートを取り入れたり、理解しやすい言葉で説明したり、必要に応じて補助ツールを活用しています。	
訪問先施設への説明等	37	状況に合わせた伝達方法（直接、電話、連絡システム等）を用いているようにしている。	2	状況に応じて、直接の対話、電話、連絡システムなどを使い分けています。例えば、急ぎの連絡は電話で、詳細な説明や確認は書面やシステムを活用しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	保育所等訪問支援の実施後には、訪問先施設とカンファレンスを行い、支援内容や成果を振り返り、次回に向けた改善点を共有しています。これにより、施設との連携が強化されています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	保育所等訪問支援の実施後には、支援内容を家族に適切に共有するため、個別に連絡帳や面談を通じて説明を行っています。家族が理解しやすい形で報告しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	訪問施設への説明時に、個人情報の取り扱いについて十分に留意し、適切な管理方法を明確に伝えています。また、施設側にも同様の配慮をお願いし、情報の取り扱いに関する合意を得ています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	訪問先施設からの相談には迅速に対応し、信頼関係を大切にしています。施設のニーズに応じて、専門的な助言を具体的に実践的な形で提供し、課題解決をサポートしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	訓練の内容を全職員で共有し、緊急時に冷静に対応する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じてスタッフの意識向上を図っています。	安全計画に関する情報共有が不十分な場合があります。全スタッフが常に最新の情報を把握しているか確認する仕組みを強化する必要があります。また、訓練の頻度を増やし、実際の支援場面に即したシミュレーションを行うことで、より実践的な安全管理を実現したいと考えています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	少しでも危険があれば共有し、改善するようにしている。	事例集になるほど事例が出ていませんが、今後も共有する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	研修に参加し、日頃から意識している。	研修内容を共有し、学びの場を増やす。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	身体拘束をするケースなし。	危険が伴う場合など突発的に身体拘束となることが想定されるケースや改善に向けた取り組みも含めて検討する。

保護者等向け 保育所等訪問支援評価表

公表日 2025年3月24日

事業所名：保育所等訪問支援 療育支援室 せいかエデュケアルーム

対象人数（保護者）15人 回答者数6人 回収40%

	チェック項目	はい	どちらとも		ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6				
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	5	1			ているが、今後は専門的な視点での支援ができるよう、職員の増員を検討していきたい。
適切な支援の提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6				
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	6				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6				
保護者への説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	4			保護者の方向けの学習会など今後検討したいと思います。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	6				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	6				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				

明 等	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6			
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6			
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6			
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			
非 常 時 等 の 対 応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	2		危機管理マニュアル等を共有し、緊急時には対応できるように連携している。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			
満 足 度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6			
	28	事業所の支援に満足していますか。	6			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 3月 24日

療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援

対象施設数：5施設 回収：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5				
5	事業所からの支援に満足していますか。	5				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		